



こんにちは、岡田よしひでです

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20

2020年7月12日 発行
県議会活動報告ニュース
NO.43

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

県議会6月定例会

県議会6月定例会で、中根さち議員が30日、代表質問をおこないました。

①米軍機の低空飛行、夜間飛行について、②持続化給付金などについて、③新型コロナウイルス感染症対策、④ポストコロナ時代について、⑤飼養衛生管理基準について。

米軍機の低空飛行

県は昨年12月、米軍機の異常な訓練の中止や事前の情報提供、国による低空飛行訓練の実態把握を求めています。中根議員は、どのような回答が来ているか知事に聞きました。



第42回 戦争と平和を考える資料展(7日、自由民権記念館)

濱田知事は、要請書の提出後も目撃情報は減少せず、むしろ増加傾向にあったため、先月にも再度要請を行った、防衛省の担当者からは「所管の課に伝える」、外務省からは「米軍に伝える」旨の回答があった、私自身上京の機会に合わせて、異常な訓練を行わないよう米軍に強く要請することや、訓練ルートや時期を事前に情報提供することなどについて、改めて要請していきたいと考えている、と答えました。

中根議員は、米軍機の低空飛行について、県民に説明できる情報確認を行うべきだが、どのように対応しているのか聞きました。

危機管理部長は、県では住民からの情報などをもとに市町村から報告された米軍機の見撃情報を、その都度速やかに集約し、中四国防衛局に伝えているが、同防衛局からは、全国の自衛隊に照会し、該当がない場合に「米軍機であった可能性がある」という回答が得られるにとどまっている、と答弁。

そして、米軍は、これまでも、個別の米軍機の飛行の有無などについては、運用上の理由等から明らかにしていません。県としては今後も、国に対して、低空飛行訓練の状況を把握する方策を講じることなどを、引き続き要請していく、と答えました。

中根議員は、動画を含めた、県民からの情報収集の充実策について質問。

危機管理部長は、市町村から県に報告をいただく米軍機の見撃情報については、飛行場所のほか、機体の形状や飛行高度、飛行音の大小など、可能な限り詳細な情報を提供していただいている、この報告の中には、市町村の職員や住民が撮影した写真や動画データが添付されている場合もあり、これらについても、県から同防衛局に報告をしている、動画の収集も有効な選択肢であるが、提供された動画の真贋の見極めや、大容量のデータを送るための手段の確保が課題だ、と答弁。防衛省からは、現地における状況を詳細に把握すべく、方策を検討しているとの説明があった、県としては、国の責任のもとで実態調査を行っていただけでなくとも含めて、国や関係市町村の意見も聞きながら、引き続き情報収集の手段を検討したいと考えている、と答えました。

おむすび通信 (43)

議会の合間をみて7日、自由民権記念館で開かれている「戦争と平和を考える資料展」を見てきました。75年前の7月4日未明、高知市は米軍機B29による焼夷弾爆撃を受け、1時間余りで1万2200戸を焼失、500人以上の命が奪われました。そして、8月には広島、長崎に原爆が落とされました。広島、長崎の被爆体験者から聞き取った光景を、高校生たちが描いた絵が多く展示されていました。